

校長室から

平成29年4月22日

石巻市立山下小学校 校長 平山 和紀

子どもたちの自信と笑顔が輝く山小をめざして

今年度もよろしく申し上げます



4月20日 1年生 32名 桜の下で

強風にも負けず、学校の桜は満開の花を咲かせています。まさに桜花爛漫の頃となりました。本校では、10日の始業式に続き、11日の入学式で32名の1年生を迎え、全校児童194名、教職員数18名で平成29年度をスタートしました。入学・進級した喜びと、担任や友だち、新しい教室との新鮮な出会いに、子どもたちは、生き生きと学校生活を送っており、いい始まりとなっています。

今年度の学校経営は、昨年度に

引き続き「**豊かな心とたくましい体を持ち、自ら進んで考え実行する子どもの育成**」を教育目標に掲げ「**やさしく かしこく げんきよく**」を合言葉に教育活動を展開していきます。また、生活のうるおいを目指す「**山小っ子 すこやかあいさつ運動**」など8つのことについて重点として取り組んでまいります。目指す学校像、教師像、8つの重点努力事項は昨年度見直しをしたことから今年度は継続し、更に徹底を図っていきます。(裏面参照)

本校の強みは、なんと言っても家庭・地域との連携の強さと教職員の指導力・チーム力です。この恵まれた特色を生かしながら、今年度も子どもたちの自信と笑顔が輝く山小づくりを進めてまいります。

保護者の方々をはじめ地域の皆様には、「おらほの学校」に対する温かいご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

教育基本法及び学校教育関係法令に則り、宮城県教育委員会並びに石巻市教育委員会の基本方針に従い、地域の実態、児童の実態を基盤として、創意と活力がみなぎり、地域に根差した学校づくりを目指す。

＜山下の学びに誇りを！＞

- 1 周りの人とのかかわりを深め、心豊かでたくましい児童の育成に努める。 ※心の教育・体験学習
- 2 学びの楽しさや充実感を味わえる学習活動の推進に努める。 ※確かな学力
- 3 保護者や地域に開かれ、信頼される学校づくりに努める。 ※開かれた学校づくり

教育目標 豊かな心とたくましい体を持ち、自ら進んで考え実行する子どもの育成

目指す児童像

やさしく

礼儀正しく思いやりのある子ども

- 進んであいさつし、礼儀正しい子ども
- 友達にやさしく接し、なかよくする子ども
- 奉仕の心を持ち、人に役立つ行動をする子ども
- 自然の生命を大切にする子ども

かしこく

自ら学びよく考える子ども

- 話をよく聞き、はっきり話す子ども
- めあてに向かって工夫し進んで学習する子ども
- 課題を見付け、自分の力で考え、ねばり強く解決する子ども

げんきよく

すこやかな体と心をつくる子ども

- 進んで体をきたえる子ども
- 安全に気を配る子ども
- 進んで仕事をする子ども
- 異学年やいろいろな人と進んでかかわり合う子ども

『山小っ子 すこやかあいさつ運動』の推進（生活のうるおいを目指して）
— お家の人へ 友達へ 先生へ 地域の人へ 明るいいあいさつ —

目指す学校像

- 明るくさわやかなあいさつが響き合う学校
- 互いのよさを認め合い、高め合う学校
- 生き生きと学び、分かる喜びのある学校
- 家庭・地域と連携し合い、信頼される「おらほの学校」

目指す教師像

- 児童を愛し、一人一人を大切にする教師
- 情熱と責任を持って、分かる授業づくりに励む教師
- 自分の持ち味を發揮し、協働の喜びを共有し合う教師
- 保護者・地域と積極的に関わり、信頼される教師

本年度重点努力事項

- (1) 自らの良さを知り、将来への夢を描き実現に努力しようとする志教育の推進
- (2) あいさつを通し身の回りの人とかかわり、思いやりを大事にする児童の育成
- (3) 確かな学力を育てる学習指導の充実
- (4) 「生命を大切に考える」健康安全教育の推進
- (5) 望ましい生活習慣と自己有用感を育てる積極的生徒指導の推進
- (6) 全校体制で取り組む特別支援教育の推進
- (7) 家庭・地域、及び小・中連携強化による教育活動・開かれた学校づくりの推進
- (8) 自然や事物・文化、人々に触れる体験活動の重視